



常盤シブヤ科だより

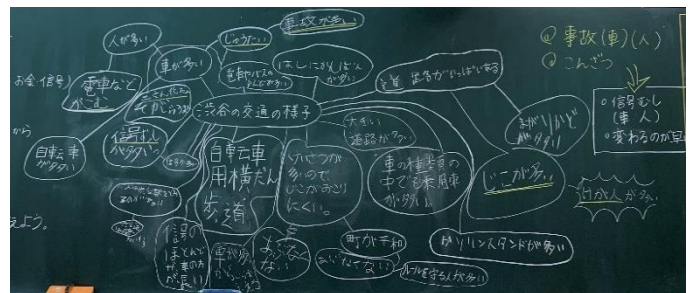
令和5年2月10日
渋谷区立常磐松小学校
No.4
担当 木村沙樹

★4年生「地域の安全を守るためのよりよい交通システムを考えよう」特集★

4年生は、「地域の安全を守るためのよりよい交通システムを考えよう」という学習を進めています。渋谷区の交通量や交通事故の多さに着目し、交通事故を減らすための工夫として、信号機に搭載できる新たな機能を考えます。タブレット端末を用いてプログラミングし、信号機を模した基盤を操作します。

学習のはじめに、渋谷区の交通の様子を思い出しました。道路や交通量等について、普段生活している中で感じていたことを挙げ、自分たちの周りには事故やけが人が多いことに気付きました。

その後、実態調査が必要だと感じた4年1組の子供たちは、地域の信号機について登下校の時間を利用して調査しました。すると、各場所の信号機の特徴が分かりました。



地域の信号機についての調査でわかったことをまとめました。
場所によって、赤の時間、点滅の時間、青の時間が異なるようです。



場所によって信号機に異なる特徴があることから、その場所その場所に適した信号機が必要なのではないか、という仮説を立てました。病院の前、学校の前、駅前、公園の前、老人ホームの前など、この場所にはこんな信号機が必要ではないか、と子供たちは考えました。「青信号の秒数を変えるのは?」「アナウンスが流れるのは?」と、子供たちの多彩なアイデアが飛び交いました。

その後、「S4A」というアプリと信号機を模した基盤を使って、必要な信号機を実現するためのプログラムを考えました。トライ&エラーの精神で、プログラムを組み替えては検討し、教室には「どうしたらいいのかな?」「こうしたほうがいい!」と、活気ある声が溢れました。

まとめの学習では、ペアごとの発表に取り組むそうです。どんな発表になるか、今から楽しみです。

学習について、御家庭でも子供たちから聞いてみてください。

